

問題1

【町で見る看板】読めるかな？

①



(き) 生

②



問題2

【歴史資料に描かれた看板】次のページの資料の「昔の看板」を、ヒントを参考にしながらグループで読んでみよう。

問題 3

現代の看板が「くずし字」で書かれていたら、
どのようなイメージ、効果があるだろうか。

問題 4

店舗看板を考えよう。

○ 商品名、アピールしたいイメージや効果

○ 看板に書きたい文字

年
組
番
名前

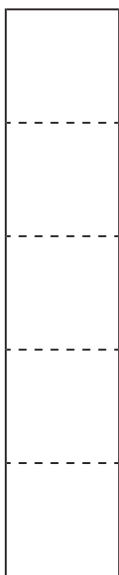
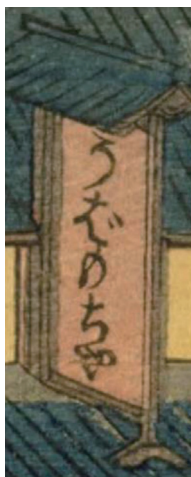
1 戸塚とつか



ヒント

ある商品しょうひんを専門せんもんに売る店うです。一文字目ひともじめだけ、先ほさきど看板読み活動かんばんよみを振り返かえってみよう。

2 草津くさつ



『東海道五十三次』戸塚（左上に看板があります）



『東海道五十三次』草津
（中央上部に看板があります）

解答

問題 1 ①生そば ②こんぶ

問題 2 1 戸塚…こめや 2 草津…うばもちや

3 鞠子…名物とろゝ汁

問題 3・4 解答例…歴史がある、和風、老舗、高級、

信頼感、奇抜など。

教材について

ねらい…歴史資料にあるくずし字による看板文字を解読し、看板の持つ意味を考えて効果的に文字を書く。

時間配分…くずし字解読50分、看板効果を考え、看板文

字の創作原稿作成50分、看板文字制作50分

対象教科・学年…国語（書写）・中学校3年

解説

江戸期浮世絵作品の中で著名と言われる、歌川広重『東海道五十三次』五五枚の中には看板が描かれている絵が神奈川宿ほか全部で七枚あります。その中から、比較的読みやすい字で書かれていると思われる三枚を抽出しました。戸塚・鞠子・草津の三枚です。

問題 1

問題 1では、くずし字解読のハードルを下

げ、また現代でもくずし字看板が残っていることを感じさせるために「生そば」「こんぶ」の二枚を使用しました。特に「生そば」は現代でも多く見られる書体です。で、生徒たちにもなじみがあります。

問題 2

問題 2でいよいよ東海道五十三次に描かれている看板の解読学習になります。

①戸塚 正解は「こめや」ですが、「こ」は「古」のくずし字であり、問題 1で読んでいるので、「め」「や」が難なく読めることを考えると、最初に読む字としては易しいと思います。

②草津 画像中央上部の看板に「うばもちや」と書いてあります。現在では「姥ヶ餅」という名で名物になっているそうです。この看板の解読もやや難しいのでヒントを用意しました。「全部で五文字である」「食品名が三・四字目に入っている」「二字目には濁点が付いている」等です。この絵の場合、純粹にくずし字を解読させてもいいのですが、絵の部分も参考になります。店舗内の人々の様子を観察すると、餅をこねたり、食べたりにしている

人が描かれています。これらの情報がくずし字解読の推理材料となります。浮世絵教材を使用することの面白さは、字だけでなくこのように絵の部分も参考になることです。国語の学習の意義からすれば「言葉」にこだわるべきなのですが、最近是非連続型テキストである画像や動画も教材とされています。そのような学びも味わってみましょう。

③**鞠子** 画像中央の店舗に立てかけてある看板「名ぶつとろゝ汁」を教材としました。この解読は漢字仮名交じりなので、ヒントがあつた方が、楽しく取り組めると思っています。例えば、「全部で七字書いてある」「一字目は漢字の『名』である」「二字目には濁点が付いている」「六字目は『繰り返し』を表す記号である『ゝ』である」「七字目は漢字である」等です。この段階からグループで協力し合つて解読していきましょう。

なお、この「鞠子宿」絵には看板がさらに一つ、また障子紙と思われるところ二カ所にもくずし字が書かれています。画像向かって左側の看板は「御ちやつけ（お茶漬）」、右側の障子紙には「酒さかな」「御茶漬」です。

これらは、三枚の浮世絵ワークが終わってしまった生徒へのチャレンジ教材になります。

さて、解読終了後は、このようなくずし字看板が現代にもあつた場合の効果やイメージを考えてみましょう。ここまでの学習における、くずし字が江戸時代に存在していたことの実感に基づき、それが現代にあつた場合の効果やイメージを出し合ってみましょう。

そして、最後には自分でくずし字看板がふさわしい商品や店舗を考えて、看板文字を制作してみましょう。

教材解説

このシリーズは、歌川広重（初代）が、江戸日本橋から京三条大橋にいたる「東海道五拾三次」の各宿駅に当って描いた名所・風景・風俗絵の大錦おおにしほ横判五五枚揃いぞろから成る。これ以前にも「東海道五十三次」は描かれたが、大判横という大きさを全五五枚完結したのは、このシリーズが最初である。（国立国会図書館デジタルコレクション解題より）底本のURLは次の通り。<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1307523?tocOpened=1>（担当：永吉寛行）

